

- 問1 冬の日本海側では、世界でも有数の豪雪地帯となる場所が多く見られます。この気象現象において、日本海を流れる対馬海流が果たしている役割についての説明として、最も適切なものを次のの中から選びなさい。 (2026年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 黒潮の強い勢いを利用して、日本海側に溜まった暖かく湿った空気を大陸側へ押し戻す役割。 | 2. 日本海を南下するリマン海流と衝突することで上昇気流を発生させ、一年を通じて安定した降水をもたらす役割。 | 3. 暖流として海面の温度を比較的高く保つことで、冷たい季節風に大量の水蒸気を与え、雪雲を発達させる役割。 | 4. 寒流として海面付近の空気を冷やすことで、シベリア高気圧から吹く風の水分を凍らせ、雪の結晶を作る役割。 |
|---|--|---|---|
- 問2 東北地方の太平洋沖は世界的な良漁場として知られていますが、その要因の一つである「寒流」の性質と海域の特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2020年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 南下してくる親潮はプランクトンを豊富に含んでおり、北上する暖流の黒潮とぶつかることで「潮目」が形成され、魚が集まるため | 2. 高緯度から流れてくる寒流が、海底付近にある冷たい砂を運ぶことで浅瀬が形成され、太陽光が届きやすくなり光合成が盛んになるため | 3. 水温の低いリマン海流が、対馬海峡から流れてくる黒潮と正面からぶつかり、海底の栄養分が巻き上げられて魚の餌が急増するため | 4. 寒流である親潮が運んでくる流氷が、暖かい黒潮によって溶かされることで海中の塩分濃度が下がり、魚の産卵に適した環境になるため |
|--|--|--|--|
- 問3 大雨が降った際、地形図上で等高線の間隔が狭く描かれている山地やその周辺の地域で、危険とされる自然災害が発生する仕組みの説明として最も適切なものはどれですか。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 平坦な土地が広がっているため、風が強く吹き抜けて強い高潮が発生しやすい。 | 2. 土地の傾斜が急であるため、大量の雨水が浸透して地盤が緩み、山くずれや地すべりが起きやすい。 | 3. 標高が周囲より著しく低いため、周辺の河川から水が集まりやすく冠水しやすい。 | 4. 地下にあるマグマの上昇により地表が急激に隆起し、火砕流が発生しやすい。 |
|---|--|--|--|
- 問4 自治体がハザードマップを作成し、住民に配布する主な目的として、最も適切な説明はどれか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| 1. 災害による被害を予測し、住民が迅速かつ安全に避難できるようにするため | 2. 過去に発生した地震の正確な発生時刻や震源地を記録として保存するため | 3. 公共事業としてダムや堤防などの建設予定地を住民に知らせるため | 4. 等高線を用いて土地の起伏を正確に描き、土地の価格を決定するため |
|---------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
- 問5 災害への備えとして重要な役割を果たす「ハザードマップ」の説明として、正しいものはどれか。 (2018年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 新しい堤防やダムを建設するために、立ち退きが必要となる地域の範囲を住民に伝えるためのもの | 2. 自然災害による被害が予想される区域や避難場所、避難経路などの情報を地図上に示したもの。 | 3. 災害が発生した後に、被災した建物の修繕費用や道路の復旧計画を住民に知らせるためのもの。 | 4. 地域にある商業施設や商店街の場所を詳しく記し、災害時に食料品を安く購入できる場所を示したもの。 |
|---|--|--|--|
- 問6 静岡県磐田市の一部などに見られる、河川沿いの低地から一段高くなっている「台地」における土地利用の様子を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2020年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 低地との境界が明確な高台になっており、その平坦な上部は主に畑地や住宅地として利用されている。 | 2. 周囲を山に囲まれた平坦な土地であり、古くから水が得やすいため大規模な水田地帯が広がっている。 | 3. 山地が海まで迫っている急斜面であり、水が得にくいことから段々畑を利用した果樹栽培のみが行われている。 | 4. 河口付近に土砂が堆積してできた平坦な土地で、浸水被害を防ぐために居住区が制限されている。 |
|---|---|---|---|
- 問7 統計資料によると、新潟県上越市では12月から2月にかけての月間降水量が250mmから350mm以上に達するのに対し、山脈を挟んだ福島県福島市では同期間の降水量が約50mm程度と極めて少なくなっています。このように、冬の日本海側で降水量（降雪量）が非常に多くなる気候のメカニズムとして最も適切なものはどれですか。 (2019年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 南東から吹く季節風が、太平洋の上空で蓄えた湿った空気を運び、日本海側の斜面で急激に冷やされるため。 | 2. 小笠原気団から吹き出す湿った暖かな空気が、冬の日本海を流れる寒流の影響を受けて雪を発生させるため | 3. シベリアから吹き出す乾燥した冷たい風が、日本列島の山脈を越えた後に日本海の水分を吸収して雪に変わるため。 | 4. 北西から吹く季節風が、日本海を渡る際に暖流の影響で湿った空気を蓄え、日本の山脈にぶつかって上昇するため。 |
|--|---|---|---|
- 問8 日本列島の地形的な特徴とその背景について述べた文として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。 (2018年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 大陸の安定陸塊の一部であるため、地震の発生は極めて稀であり、古い地層が露出している。 | 2. 古期造山帯に属しており、長期間の浸食を受けたなだらかな山地が列島の大部分を占めている。 | 3. アルプス・ヒマラヤ造山帯の延長線上に位置するため、8000メートル級の高峰が連なっている。 | 4. 環太平洋造山帯に位置しており、地殻変動が活発なため、火山が多く地震も頻繁に起こる。 |
|---|--|--|--|
- 問9 三重県の志摩半島や三陸海岸の南部、大分県南東部などに見られる、もともと山地の谷であった部分に海水が入り込んでできた、複雑に入り組んだ海岸線の名称として正しいものを選びなさい。 (2019年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|--------|-------|
| 1. リアス海岸 | 2. 海岸段丘 | 3. 干拓地 | 4. 砂州 |
|----------|---------|--------|-------|
- 問10 冬の降水量が非常に多く、夏と冬の気候の変化がはっきりしている「日本海側の気候」の説明として正しいものはどれですか。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|-----------------------------|------------------------------------|--------------------------------|
| 1. 標高が高いため夏でも涼しく、冬の寒さが非常に厳しい。 | 2. 1年を通じて雨が少なく、夏と冬の気温差が小さい。 | 3. 季節風の影響で冬に雪が多く、世界でも有数の豪雪地帯が見られる。 | 4. 冬は晴天の日が多く乾燥しており、夏に降水量が集中する。 |
|-------------------------------|-----------------------------|------------------------------------|--------------------------------|
- 問11 河川の下流に位置し、標高が50m以下で複数の川に挟まれた低湿地において、水害対策としてとられた「輪中」の構造と仕組みに関する記述として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 森林を大規模に伐採して平地を造成し、雨水を素早く海へ流す仕組み。 | 2. 海岸沿いに巨大な防潮堤を建設し、地震による津波を遮断する構造。 | 3. 上流の森林に多数の砂防ダムを設置し、土砂の流出を抑える仕組み。 | 4. 集落や田畑の周囲を隙間なく堤防で囲み、外部からの浸水を防ぐ構造。 |
|-------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
- 問12 地形図上で「博物館」の地図記号が記されている地点において、その施設で行われていることが想定される活動として最も適切なものはどれですか。 (2017年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------|---------------------|-------------------|-------------------|
| 1. 一般市民への図書や雑誌の貸し出し | 2. 歴史的な資料や美術品の展示・公開 | 3. 住民票の発行や税金の納付受付 | 4. 遺構としての石垣や掘割の保存 |
|---------------------|---------------------|-------------------|-------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 暖流として海面の温度を比較的高く保つことで、冷たい季節風に大量の水蒸気を与え、雪雲を発達させる役割。	冬、シベリア高気圧から吹き出す冷たく乾いた季節風が、相対的に暖かい対馬海流の上を通過する際、海面から大量の水蒸気が供給されます。湿った空気は日本の山脈にぶつかって上昇し、雪雲となって日本海側に大雪をもたらします。対馬海流という暖流の存在が、日本の冬の気候に特異な影響を及ぼしています。
問2	答え 1 南下してくる親潮はプランクトンを豊富に含んでおり、北上する暖流の黒潮とぶつかることで「潮目」が形成され、魚が集まるため	寒流である親潮（千島海流）は、栄養塩類やプランクトンを豊富に含んでいます。この親潮が、南からの暖流である黒潮（日本海流）とぶつかる境界は「潮目（潮境）」と呼ばれます。潮目では、暖流系の魚と寒流系の魚の両方が集まることに加え、プランクトンが多いため好漁場となります。なお、リマン海流は日本海側の寒流であり、黒潮と直接ぶつかることはありません。
問3	答え 2 土地の傾斜が急であるため、大量の雨水が浸透して地盤が緩み、山くずれや地すべりが起きやすい。	等高線の間隔が狭い部分は、土地の傾斜が急になっていることを意味します。このような急傾斜地では、大雨によって浸透した水が地盤を緩ませ、がけ崩れや地すべりを引き起こしやすくなります。
問4	答え 1 災害による被害を予測し、住民が迅速かつ安全に避難できるようにするため	ハザードマップは、災害が発生する前に危険な場所や避難経路を確認しておくためのツールである。これにより、いざという時に住民が自らの判断で適切な避難行動を取り、被害を軽減（減災）させることが期待されている。
問5	答え 2 自然災害による被害が予想される区域や避難場所、避難経路などの情報を地図上に示したもの。	ハザードマップは、洪水、土砂災害、津波などの自然災害が発生した際に、どの範囲まで被害が及ぶ可能性があるかを予測し、安全な避難場所や経路を住民に周知するための地図です。これを利用することで、住民は災害発生時に迅速かつ安全な避難行動をとることが可能になります。復興計画や商業施設の案内を目的としたものではありません。
問6	答え 1 低地との境界が明確な高台になっており、その平坦な上部は主に畑地や住宅地として利用されている。	台地は、周囲の低地から一段高くなった平坦な地形です。静岡県磐田市の周辺などに見られるこの地形は、航空写真などで確認すると、河川沿いの水田が広がる低地から、斜面を経て一段高い場所へと明確に区切られています。この高台の上部は、低地と比較して水が得にくいという制約があるため、稲作ではなく、畑地や近年の都市開発に伴う住宅地として活用されるのが一般的です。
問7	答え 4 北西から吹く季節風が、日本海を渡る際に暖流の影響で湿った空気を蓄え、日本の山脈にぶつかって上昇するため。	日本の冬は、ユーラシア大陸のシベリア高気圧から北西の季節風が吹き出します。この冷たく乾燥した風が日本海を渡る際、対馬海流という暖流の影響で大量の水蒸気を含み、湿った空気へと変化します。この湿った空気が日本列島の中央部にある高い山脈にぶつかって上昇することで雪雲が発達し、日本海側に大雪をもたらします。一方で、山脈を越えた後の空気は乾燥するため、福島市のような太平洋側の地域では晴天が多く、降水量が少なくなります。
問8	答え 4 環太平洋造山帯に位置しており、地殻変動が活発なため、火山が多く地震も頻繁に起こる。	日本の地形を理解する上で、環太平洋造山帯という位置関係は重要です。この造山帯は地球上のプレートが沈み込む場所などに形成されるため、地下のマグマが発生しやすく火山が形作られるほか、プレートのひずみが解放される際に大規模な地震が発生します。これに対し、安定陸塊は地震がほとんどなく、アルプス・ヒマラヤ造山帯はアジアからヨーロッパにかけて横断する別の造山帯です。
問9	答え 1 リアス海岸	山地の谷が、土地の沈降や海面の上昇によって海水に浸されることで形成されました。小さな岬と湾が連続する入り組んだ形が特徴で、波が穏やかなため真珠や魚介類の養殖業、天然の良港として利用されています。一方で、津波が発生した際には湾の奥で波が高くなりやすく、大きな被害が出やすいという側面もあります。
問10	答え 3 季節風の影響で冬に雪が多く、世界でも有数の豪雪地帯が見られる。	日本海側の気候は、冬に吹く北西の季節風が水分を運んでくるため、冬に雪や雨が多いのが最大の特徴です。これに対し、太平洋側の気候では冬に乾燥した晴天が続き、瀬戸内の気候では年間を通じて降水量が少なくなります。秋田市など東北地方の日本海側も、この季節風の影響を強く受ける地域です。
問11	答え 4 集落や田畑の周囲を隙間なく堤防で囲み、外部からの浸水を防ぐ構造。	輪中は、単に川沿いに堤防を築くのではなく、居住エリアや耕作エリアの「周囲すべて」を堤防で囲んでいるのが最大の特徴です。これにより、複数の河川のうちどこかが決壊したり溢れたりしても、囲いの中への浸水を防ぐことができます。また、輪中の内部では、さらに一段高く盛土をした場所に避難用の家屋（水塚）を建てるなど、重層的な水害対策が行われてきました。
問12	答え 2 歴史的な資料や美術品の展示・公開	博物館の地図記号は、博物館法に基づく施設のほか、美術館や歴史資料館など、文化的な資料を収集・保存し、公衆の閲覧に供する施設に用いられます。図書の貸し出しは図書館、行政事務は官公署（市役所や町村役場）、古い城の跡は城跡の記号がそれぞれ対応しており、施設の設置目的や機能によって使い分けられています。